

一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会
定時社員総会記念講演会

「入院者訪問支援事業」を通して 権利擁護について考える

2025.6.28 (sat) 14:30～16:40

神戸市教育会館大ホール
神戸市中央区中山手通4丁目10番5号



プログラム



講演



入院者訪問支援事業が目指すもの ～事業創設の経緯から考える～ (仮)
名雪 和美 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)



おかやま精神医療アドボケイトセンターでやってきたこと
木本 達男 (一般社団法人おかやま精神医療アドボケイトセンター)



パネルディスカッション

名雪 和美 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
木本 達男 (一般社団法人おかやま精神医療アドボケイトセンター)
藤田 行敏 (特定非営利法人あすなろ)
山下 峻 (社会医療法人寿栄会ありまこうげんホスピタル)

コーディネーター 角野 太一 (一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会)



一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会

参加方法／要申込:定員150名:当協会会員

(日本精神保健福祉士協会兵庫県支部会員含む)

お問い合わせ／一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会事務局

E-mail:office@hyogo-psw.org

詳細は
こちらから



一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会 定時社員総会記念講演会

開催趣旨

2024年度施行の精神保健福祉法改正により、入院者訪問支援事業が始まりました。

兵庫県・神戸市では、昨年から県内4病院でモデル事業としてスタートしており、今年度から本格実施されています。入院者のアドボケート活動に広範な市民が参画する時代が訪れました。

今年の総会記念講演では、事業の法定化に尽力されてきた国立精神・神経医療研究センターの名雪和美氏と、事業を先進的に実施してこられたおかやま精神医療アドボケートセンターの木本達男氏をお迎えし、事業の趣旨や期待される変化についてお話をうかがいます。また、兵庫県下でモデル事業にとりくんだ病院職員、支援員を交えて、事業推進にあたっての課題を話し合います。

入院者訪問支援事業を一つのキーワードとして、権利擁護活動について考えるきっかけになればと思っています。入院者と病院、そして地域社会はどう変わっていくのか。すべての精神保健福祉士の課題として考えてみませんか。

皆様のご参加をお待ちしています。

講師略歴

・名雪 和美（精神保健福祉士）

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
地域精神保健・法制度研究部 特任研究員

千葉県東部の総合病院精神科において、PSWとして精神医療の現場を経験、多職種・多機関連携による地域支援体制の構築、精神科医療機関による地域づくりを実践

平成28年より、厚生労働科学研究「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」研究協力者として、「包括的支援マネジメント実践ガイド」の作成に携わる

厚生労働省では、主に、「にも包括」構築推進を担当し、精神科医療機関でのPSWとしての勤務経験を活かし、精神保健福祉法改正に向けた業務、診療報酬改定に向けた調整等に従事し、旭中央病院在職中に行った意思決定及び意思の表明支援モデル事業の協力病院PSWとしての経験から、入院者訪問支援事業法定化に向けた調整に積極的に携わる

現在は、精神保健医療福祉体制の更なる充実に向けた研究および入院者訪問支援事業の実装に向けた取組や研究に従事している

・木本 達男（精神保健福祉士）

一般社団法人おかやま精神医療アドボケートセンター

H15年3月 川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 修了

H15年4月～岡山市内の精神科病院に精神保健福祉士として勤務

H21年4月～岡山市に入職 保健所や精神保健福祉センターに配属

R4年4月ごろから おかやま精神医療アドボケートセンターの設立に関与し、現在は研修担当として運営に携わる

専門分野 精神障害家族支援 精神障害ピアサポート 精神障害者地域移行支援

精神医療における権利擁護

■ 定員／対面150名

■ 参加／要申込（無料）・当協会会員（日本精神保健福祉士協会兵庫県支部会員含む）に限定させていただきます。

■ 申込方法／当協会ホームページにアクセスの上、お申し込みください。WEB申込ができない方は別途お問い合わせください。<http://www.hyogo-psw.org/MEETING.html>

■ 申込締切／2025年6月20日（金）

■ お問い合わせ／（一社）兵庫県精神保健福祉士協会事務局

E-mail : office@hyogo-psw.org

